

ノストラダムスの大予言 (1974)

CATASTROPHE 1999

メディア 映画
ジャンル パニック
製作国 日本
色彩 Color
時間 114分
初公開日 1974/08/03

【解説】

公害の危険性と環境破壊問題を訴え続けていた環境研究所所長、西山の元へ夢の島での異変が伝えられた。現場ではゴミの中に巨大なナメクジが大量発生していたのだ。同行したカメラマンの中川は西山の一人娘まり子と恋仲だったが、不安定な世情のせいか結婚をためらっていた。だが中川の故郷で赤潮が発生、絶望した網元の父が入水自殺した哀しさを隠すために中川とまり子は体を重ねた。消息を絶った調査隊を追ってニューギニア奥地を訪れた西山たちは、突然変異を起こしたコウモリや蛭、人食い人種との戦いの末に隊員たちと出会うが、彼らは既に放射能によって変わり果てた姿となっていた。世界各地では異常気象や異常事態がなおも続く。エジプトには雪が降り、南洋は氷河と化し、銀座では奇怪な植物が発生。航空機爆破によってオゾン層は破壊され、降り注ぐ紫外線が人を森を焼き尽くす。若者は自殺への道をひた走り、逃げ場の無い人々には容赦ない自然の猛威とそれに伴う人災が降り掛かっていく。混乱と暴動の続く中、西山と中川が見上げた空には、破滅の都市・東京を不気味に映し出した曇気楼が浮かび上がっていたのだ……。

当時、一大ブームとなっていた五島勉のベストセラー「ノストラダムスの大予言」を基に、『日本沈没』の大ヒットを受けて製作されたディザスター・スペクタクル。物語は、長崎の蘭学者・西山玄哲、玄学、良玄の三代に渡る視点で描かれているが、ドラマ性よりもパノラマ的な見世物を主軸とした構成となっている。次から次へと描き出される地獄絵図は見る者を恐怖に陥れだけでなく、当時の世相に漂っていた終末思想をなお後押しするような苦いものであった。富田勲の雄大なスコアも壮快さより荒涼とした雰囲気を作り出していた。70年代半ば、世界的現象として捉えてもかまわない世紀末への不安と未来への絶望という図式。この作品は、そのもっとも見事な体言化と言えるだろう。人食いや発狂というタブーとされる題材を取り込んでいるためビデオ化はされておらず（カットされたバージョンがTV放映された事はあるが）、現在では再編集・英語吹替えによるアメリカ版のバージョン（“LAST DAYS OF PLANET EARTH”）が輸入ビデオやLDで鑑賞できるだけの幻の作品となっている。同時上映は『ルパン三世 念力珍作戦』。

【クレジット】

監督	舛田利雄	Toshio Masuda
製作	田中友幸 田中収	
構成	八住利雄	
原作	五島勉	
脚本	八住利雄	
潤色	舛田利雄	Toshio Masuda
	坂野義光	
撮影	西垣六郎 鷺尾馨	
美術	村木与四郎	

編集	小川信夫		
音楽	富田勲		
特技監督	中野昭慶		
特技・撮影	富岡素敬		
	山本武		
特技・美術	井上泰幸		
ナレーター	岸田今日子		
出演	丹波哲郎	Tetsuro Tamba	西山良玄／玄啓／玄学
	黒沢年男		中川明（カメラマン）
	司葉子		西山信枝（良玄の妻）
	由美かおる		西山まり子（良玄の娘）
	青木義朗		柏尾憲兵少佐
	平田昭彦		植物学者
	小泉博		動物学者
	谷村昌彦		田山
	浜村純		木田
	谷口香		おりん（玄哲の妻）
	田遠実		玄武（玄哲の子供）
	久野四郎		隠密
	原田君事		隠密
	小笠原剛		隠密
	竜崎勝		大根
	佐々木勝彦		吉浜
	武藤章生		井原
	音羽久米子		木田の妻
	麻里とも恵		木田の娘
	鳥居功靖		木田の娘の夫
	下川辰平		自衛隊隊長
	加藤小代子		四国のバスガイド
	平田未喜三		三治（組合長）
	中村たつ		勝子（三治の妻）
	志村喬		病院長
	稲村和子		浜子（田山の妻）
	山村聡	So Yamamura	総理大臣
	加藤和夫		学者
	渥美国泰		学者
	北沢彪		学者
	雪丘恵介		学者
	ジョージ・F・フリム		A国代表
	ウィリー・ドーシー		黒人代表
	セテラ・トニー		ニューギニア調査隊員
	ロルフ・ジェッサー		ニューギニア調査隊員
	フランツ・グルーベル		ニューギニア調査隊員
	ライナー・ゲッシュマン		ニューギニア調査隊員
	鈴木治夫		警官

青木敏夫
杉井勇
中野宣之
瀬良庄太郎
鈴木瑞穂
内藤武敏

警官
軟体人間
軟体人間
開発大臣
環境庁長官
官房長官